



学校だより

平成29年5月25日



6月号

横浜市立港南台第一小学校

Tel:832-0210 Fax:832-7771 Email:y3konan1@edu.city.yokohama.jp

体験すること

校長 大石 礼子

新緑が鮮やかな港南台のまちを歩いていると、時折聞こえてくる鳥のさえずりに思わず空を見上げてしまいます。ささやかな出来事ですが、心和まされるひと時です。

5月22日（月）にPTA総会が行われました。28年度の役員、各委員の皆様、ありがとうございました。そして、29年度の役員、各委員の皆様、よろしくお願いいたします。子どもの健全な育成のためには学校と保護者の皆様、地域の皆様のご協力、ご支援があってこそだと考えております。「できるときに できることを」をスローガンに本年度もよろしくお願いいたします。

正門に立っていると1年生が「アリの行列だ！」と声をあげました。どこから続いているのか、一緒にたどっていくと、どこまでも続いていました。「すごい！」「たくさんいるね」など、たくさんのつぶやきを聞きました。また、学習中に植物を観察している子どもが、テントウムシやダンゴムシに気付き、ジーッと観察したり手の甲に乗せたりしている様子も見られました。オタマジャクシやメダカを熱心に観察しながら成長を楽しみにしている子、足元に咲く草花に心を寄せる子、日々の生活の中で、子どもたちは、様々な体験をしています。その体験を通して、私のように心和まされたり、癒されたりしているのかもしれない。また、自分の感覚が刺激されて知的好奇心が高まっているのかもしれない。

「学習」というと机に向かって・・・というイメージをもってしまいがちです。しかし、実際には、人が考えたり学んだりすることの多くは、身の回りにある様々な人やものとの関係、自然と向き合うことで興味関心が高まり、あらゆる感覚を駆使して思考を深めていくことで知識が身についていくのではないのでしょうか。この過程を繰り返し、経験を積み重ねることは豊かで確かな学びにつながると考えます。身の回りのことやもの・出来事・自然との直接的な体験による出会いによって初めて、書物に書かれていることを豊かで、奥深い知識として得ることができるのではないのでしょうか。子どもたち自身が、体験で獲得した実感や知識を大切にして、自分でしっかりと意味づけることができるように支援しながら少しずつ、豊かな感性と確かな学びを育てていきたいです。

これから4年生の上郷宿泊体験学習、5年生の愛川宿泊体験学習が続きます。それぞれのめあてをしっかりとって、自分たちが主体的に活動することを意識してほしいと思います。そして、直接的な体験を通して自分自身を見つめ、ふりかえることのできることを期待して、私も子どもたちと一緒に行ってまいります。